

二  
挨拶

日蓮宗宗會議員

泰教寺住職  
平井照山



昨年日蓮宗宗會議員が任期満了となり選挙が行われました。私は有志の方よりおすすめを頂き誠に有難く存じました。浅学非才にて如何がしたものかと迷いましたが自分の年令の事等を考えました時に宗祖大聖人のご遺文の中に「余命いくばくならずいたづらに旷野にしてん身を、同じく一乗妙法のかたになげ」と申されています。今ならまだ宗門の為、お手伝いが出来るのでは、それが宗祖大聖人へ万分の一でもご恩を報ずる事になればと思い立候補を決意しました。佛様のご加護を頂いたのでしょう。本山松尾山田中貫首猊下を初め、多くのご寺院各聖のご支援を賜り、昨年十一月十五日当選させ

て頂きました。誠に光榮に存じますと共に身の引き締まる思いでございます。更に昨年十二月に寺院各聖より当選激励会、本年正月に檀徒各位より当選祝賀会を催して頂きました。本紙をおかりし厚くお礼を申し上げます。

行政、立法、司法の三権分立制です、宗門も同様です。行政の長が内閣総理大臣でありますように宗門内局の長を宗務総長と申します。総理大臣は国会議員により選びます。宗務総長は宗会議員が選ります。国会議員は選挙区の住民により選ばれます。宗会議員は宗門が定める選挙区の教師（日蓮宗の僧籍を有する者）により選ばれます。私達佐賀県の選挙区は「第三十五回選挙区」で長崎、佐賀、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の六県より定員二名となつており選挙区の割振りが国とは違います。この様に国の制度と同じ箇所もあり、違う所もありますが特に大きくな違ひはありません。国会は衆議院と参議院

おります。

殊に本年四月二十八日に迎えんとする  
千載一遇と申すべき日蓮宗立教開宗第七  
百五十年慶讃の大法会に当り、宗祖大聖  
人のご遺文の中に「日蓮一人始めは南無  
妙法蓮華経と唱えしが二人三人百人と次  
第に唱え伝うるなり。未来も亦然るべし」  
とのお言葉を体し、私達は現在そして未  
来の為に法華経、お題目の信仰を深め、  
研鑽し、自分でなく日蓮宗のお題目  
に縁薄き人々へも僧俗一体となり、おす  
すめし一步一歩日蓮大聖人の祖願達成に  
向けて精進下さいますことをお祈りする  
と共に各聖、各位のお力添えをお願い申  
し上げご挨拶と致します。

の二院制ですが宗会は一院制という事です。国会が国權の最高機関であるように宗会は宗門の最高機関です。昨年十二月十一、十三日に改選後初の特別国会に当る、特別宗会が開催されました。又、本

第17号

発行所  
藤津郡塩田町大字  
五町田甲1307 学成院内  
TEL 09546-6-2285  
FAX 09546-6-2771

日蓮宗佐賀  
教化センター

発行責任者  
小寺大誠

# 立教開宗750年慶讃日蓮宗 佐賀県護法大会

◆開催日 平成14年4月14日(日)  
◆会場 佐賀県文化会館 大ホール  
◆募集人員 1800名  
◆開場時間 午前9時30分  
◆問い合わせ 各菩提寺又は宗務所(塩田町学成院)  
☎ 0954-6-2285

立教開宗750年という千載一遇の  
機会ですので奮ってのご参加の程を  
宜しくお願ひ申し上げます。



**特集**  
**《日蓮大聖人のご生涯》**

前号より引き続き日蓮大聖人のご生涯をたどつて参ります。

《前号まで》

立教開宗の後、日蓮大聖人は鎌倉を拠点として法華経の教えを広めていかれました。折伏という他宗を厳しく批判する布教方法の為、度重なる法難を受け遂には、佐渡へ流罪となつてしまわれたのでした。

《佐渡での生活》



《塚原三昧堂》

で念仏の信徒と法論を戦わす日々を過ごされました。その中でも熱烈な念仏の信者であつた阿仮房は「法華経が成仏できことか」と刀を抜いて問い合わせましたが、結局は自分の誤りを指摘されその場で念佛を捨て、法華経に帰依されるようになります。

阿仮房はそれからというもの監視の厳しい中に毎晩夫婦交代で百日間もの間、日蓮大聖人に食料を運んでいます。その功徳は千日の修行にも勝るということで、妻に千日尼、阿仮房には日得という法号が与えられています。

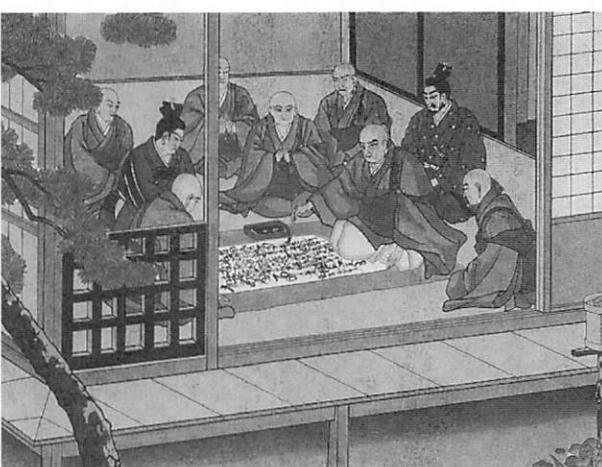
《三大誓願》

この供養によつて命を長らえることが出来た日蓮大聖人は一二七三年（文永九年）に「われ日本の柱とならん。われ日本の大眼目とならん。われ日本の大船となるん」との三大誓願を立てられ開目抄を著述されました。この「開目抄」という題名は信仰に対する人々の盲目を開くという意味で、我こそが法華経の行者、末法における師であるということを強く現されたことから、「人開眼の書」といわれます。

翌年、日蓮大聖人の予言していた国内の内戦が的中したため幕府はこの靈力に驚き、佐渡の豪族、一の谷の入道清久の面の粗末な三昧堂を住居としてあてがわれました。当時の塚原は死人を捨てる共同墓地のようなどころでした。しばらくの間、日蓮大聖人はこの三昧堂

《赦免》

一二七四年（文永十一年）二月十四日、



《大曼荼羅図顕》

執権・北条時宗の決断によりついに赦免が決定しました。二年数ヶ月による佐渡での配流生活は苦難に満ちたものでした。が、日蓮大聖人には大きな転換期であり、また意義のある流罪でした。三月八日には弟子の日朗が赦免状を携えて到着、その後阿仮房夫妻や信徒に別れを告げ十三日には佐渡ヶ島を後にされました。

屋敷に移されました。そしてそこでは、本尊について、また、本尊を觀ずる心のあり方についても示された「観心本尊抄」をお書きになられました。こちらは、「法開顕の書」といわれます。一の谷では一二七三年（文永十年）七月八日に信仰の対象であります大曼荼羅を図顕なされました。

**佐賀の老舗**

信用本位

辻の堂の仏だんや

**(株)本庄仏具総本店**

佐賀市堀川町(辻の堂) ● TEL 0952・23-2955(代)

技術本位

花と葬儀

木下株式会社  
平安閣冠婚葬祭互助会

草苑

OMEGA ALPHA SAAL  
木下株式会社

佐賀市兵庫町藤ノ木1115  
北佐賀草苑

30-4040  
(0952) FAX・30-4043

佐賀市本庄町大字本庄951  
南佐賀草苑本庄

25-1255  
(0952) FAX・25-1088

うえ の どの ご へん じ  
上野殿御返事

「或は火の如く信ずる人もあり、或は水の如く信ずる人もあり。火の如くと申すは、聴聞する時は燃えたつばかり思へども、遠ざかりぬれば捨る心あり。水の如くと申すは、いつも退せず信ずるなり。」

信仰をする人の中には、火のように信じる人もあるれば、水のように信じる人もあります。火のように信じるとは、説法を聴聞する時は大いに感激して燃えたつばかりに思います。時がたつにつれ、信仰が薄れてしまう一時の信心をいいます。水のように信じるとは、河の水が常に流れているように、いつも退転せず永々と信じ続ける信心をいうのであります。

大聖人のお仰せになる水の信仰とは、  
ただ怠らず続けて精進していくという事  
だけの教えでなく、お題目の教えをしつ  
かりと身につけて信じて疑いなくお唱え  
していく事を仰せになつておられます。  
今は、ご利益信仰が流行しております。  
そのご利益のみを求めるが為に、自分の  
意に叶わぬ結果になつてしまえば今の信  
仰が駄目だと思い又別の信仰に変えてし  
まう。この様な事では、本当の信心とは  
言えません。

本年は、日蓮大聖人が初めてお題目をお唱えになられて七五〇年になります。一口に七五〇年と申しましても、その長さを具体的に想像できますでしょうか。また、「始める事」や「止める事」は、「続ける事」に比べれば簡単な事と思います。日蓮大聖人は御年三十一歳で初めて「南無妙法蓮華經」とお唱えになられて、生涯唱え続けられ自ら水の信仰を我々にお示し下さいました。

そして、そのお題目は、七五〇年もの間、受け継がれて、今でも唱え続けられています。

七五〇年間、大河の如く流れ続けた日蓮大聖人のみ教えそして、お題目を次代に伝えるのが我々の努めであると思いります。

しかも、お題目をお唱えする私達は、その苦しみは、自分を成長させる為の仏様から与えて頂いた試練として受け止め、退転する事なく、逆に感謝の心を持つてお題目をお唱えする事が大事であります。

Aご本尊とは私達が礼拝の対象として安置する尊像等を言いますが、本宗では法華経に示された久遠実成の釈迦牟尼仏を本尊と仰ぎ、宗祖日蓮大聖人が釈尊の悟りを南無妙法蓮華経のお題目に現し、法華経説法の場面を図示された大曼荼羅を本尊と定められています。

又、この大曼荼羅を具現化（仏像化）した、中央にお題曰宝塔・両脇に釈迦牟尼仏・多宝如来を配した一塔両尊の仏像等も同じくご本尊としております。

Q 日蓮宗の結婚式について教えてください。

A 日本では旧来結婚式は自宅の仏壇前か、座敷の床の間の前で行われてきました。明治以降神前結婚式が流行となり、今やホテルなどではチャペルが無いと結婚式場ではないような流行です。しかしながら私たち日蓮宗徒はご本尊様の前で式を行うのが本來の姿と考えます。

我が宗では、仏前結婚式と総称しますが、ご本尊・宗祖日蓮大聖人・ご先祖様のご宝前で、相手と巡り合った仏縁に感謝し、法華經・お題目のみ教えを夫婦生活の根本とし、併に努力していくことをお誓いします。

又、式を司る式長(住職)より正婚允可証(証明書)念珠を授与されるのが特色です。

その後安産祈願、日晴れ、七五三の祝等全てご本尊様にお願いすることが大事です。

・寺院用具一式  
・登高座  
・仏壇  
・幢幅  
・塗物

・前卓  
・修復  
・人天蓋  
・宗教絵画  
・其の他

・鎧金物  
・須弥坦  
・美術彫刻品  
・神威用具  
・仏像彫刻

・宮  
・經  
・仏  
・塔  
・箔

殿机具造者

# シロアリ駆除

(社)日本しろあり対策協会正会員  
**(有)瀬倉白蟻工業所**  
佐賀市水ヶ江5-5-4  
☎0952(29)5680

# 寺院紹介（十五）

《朝日山湧泉寺》  
あさひざん  
ゆせんじ

多久市北多久町  
大字小侍一八一八



木下海湧住職

山々に囲まれた景観の中、豊かな自然に囲まれた所にあります。

**歴史**

湧泉寺は、明治十九年（一八八六）十一月二十四日の創立で、開山は竜海院日宝上人です。

この地には天然の名滝があり、慶長（一五九六）年間に、唐津領主小笠原氏が湧泉の滝と名づけ、觀世音菩薩等を安置されました。

明治初年には朝日天王を祭祀して、信徒一同が法華道場朝日教会を開き、第二世順達院日正上人、弟子の第三世順正院日誠上人の代に益々盛んになりました。

壇信徒のより處である本堂も、昭和九年（一九三四）の暴風水害以来、数々の災害を蒙り大破腐朽したため、第四世三昧院日恒上人の代に檀信徒が一丸となり、新しく建立されました。

現在の姿になりました。

和九年（一九三四）の暴風水害以来、数々の災害を蒙り大破腐朽したため、第四世三昧院日恒上人の代に檀信徒が一丸となり、新しく建立されました。

## 【本堂】

元来、本堂は滝の側にありましたが、崖崩れ、水害の被害を受けやすく、実際に昔の本堂は崖崩れで大破し、今の位置に移動したそうです。

現在の場所に移動してからも、住職不在の時期が長かつたせいか、現住職が入山した時には、絵に書いた様な荒れ寺で、雨漏りもひどく歩けば畠もぶかぶかで、とにかく人が住める状態ではなかつたそうです。

**【蜂の巣滝】**  
この辺りの地名を、通称「蜂の巣」と呼んでいました。  
**【蜂の巣の云われ】**  
昔、この地に蜂の巣の様にたくさん穴があいた岩があり、その穴一つ一つに觀音様をお祭りしてあります。だから、ここを蜂の巣と呼ぶそうです。



〈蜂の巣滝〉



〈歴代の墓〉



〈湧泉寺本堂御宝前〉



仏壇・仏具・寺院用具・寺院納骨堂設計施工  
拝む心で尊い品を  
**梅谷佛具店**  
TEL 092-271-0456

本店 〒812 福岡市博多区下川端町10-9  
-0027 (地下鉄中洲川端駅下車)  
支店 〒819 福岡市西区周船寺3-9-4  
-0373

フリーダイヤル  
0120-39-0456  
TEL 092-806-7499

通産大臣認可 7産第2930号  
株式会社 **冠婚葬祭こころの会**  
三日月町大字久米2084-1 ☎72-3177・FAX72-3633  
こころの会指定店 **黄城** 有限会社  
総合葬祭 小城町270 ☎73-3938・FAX72-3633